

LCC News Letter 1 2

24 February 2011 LCC広報担当

「沈む日本、昇る日本」

平成23年2月23日(水)マイドームおおさかに於いて近畿経済産業局主催、同志社ビジネススクール(DBS)が協力、大阪商工会議所が事務局となり、「海外展開支援」セミナーが開催されました。

今、世界各国が協調して、低炭素社会(脱炭素社会)の実現が喫緊の課題です。近畿経済産業局は、潜在能力があり飛躍が期待される関西の「電子・エネルギー技術産業」関連企業対象に、世界的競争力を維持・強化するための戦略、「プロジェクトNEXT」を開始しました。

そして、大阪商工会議所は、関西と海外の連携を促進する事業「グローバル・コネクト・プログラム」(GCP)の推進を近畿経済産業局から依頼され、関西技術を世界へPR、オンリーワン中小企業の海外への売り込み、それに、海外からの技術導入の促進支援などを果たします。

3年以内に、関西の電子・エネルギー技術産業が、世界シェアを獲得・維持し、また、新市場へ進出するために、各企業が連携・協同できる態勢(プラットフォーム)を構築する計画です。

Neo Exciting Electronics & Energy Technologyから「NEXT」と命名されたプロジェクトの主旨や目標などが、大阪商工会議所経済産業部より説明があり、続いて、同志社ビジネススクール(DBS)の林廣茂教授が、大阪市中心の中小・ベンチャー企業向けに「沈む日本、昇る日本～日韓企業競争2011」と題した基調講演をされました。ご承知のとおり、林教授のご専門は、「国際マーケティング」、「商品・ブランド開発」、「韓国企業論」であり、中小企業のための海外マーケティング・セミナーに相応しい内容で、会場が立錫の余地もない程の盛況でありました。



週刊東洋経済

益々、開く日韓の格差

1年前、林教授は日韓の企業比較を、「技術で勝ってマーケティングに負けた」と話されたのを私は記憶しています。

今回、「技術で並ばれ、マーケティングでも負けた」と変化しておりました。益々の格差に苛立ちを覚えるのです。

林教授の巻き返し戦略

1. 業界を再編成し、メガ・カンパニを2-3に集約。
2. グローバル市場で高収益を生む技術経営力を習得。
3. 日本本社主導のビジネス・モデルを転換し、現地対応にする。
4. 組織と人材のグローバル競争力を飛躍的に高める。
5. グローバル・ブランド力を高める。

(文責: 北出 至)